

KYORIN



杏林製薬株式会社
東京都千代田区神田駿河台2-5

Drug Information

「効能・効果」追加についてのお知らせ

謹啓 時下ますますご清栄のこととお慶び申し上げます。

弊社製品につきましては、格別のご高配を賜り厚く御礼申し上げます。

さて、この度 弊社製品、広範囲経口抗菌剤「バクシダール錠100mg・200mg」「小児用バクシダール錠50mg」につきまして、「腸チフス」、「パラチフス」の効能・効果が追加（平成13年5月31日付で承認）となりました。

今回の効能・効果の追加に伴いまして、添付文書に記載されております内容の一部を改訂致しましたので、概要について下記にご案内申し上げます。

今後ともご高配賜りますようお願い申し上げます。

敬白

記

◆バクシダール錠 100mg・200mg

【効能・効果】

改訂後	改訂前
<p>ブドウ球菌属、レンサ球菌属、腸球菌、肺炎球菌、淋菌、大腸菌、シトロバクター属、サルモネラ属、シゲラ属、クレブシエラ属、エンテロバクター属、セラチア属、プロテウス属、モルガネラ・モルガニー、コレラ菌、腸炎ビブリオ、緑膿菌、インフルエンザ菌、カンピロバクター属のうち本剤感性菌による下記感染症</p> <p>○咽喉頭炎、扁桃炎、急性気管支炎 ○腎盂腎炎、膀胱炎、前立腺炎、淋菌性尿道炎 ○毛嚢(包)炎(膿疱性痤瘡を含む)、癬、よう、伝染性膿痂疹、蜂巣炎、皮下膿瘍、感染性粉瘤 ○胆のう炎、胆管炎 ○細菌性赤痢、<u>感染性腸炎、腸チフス、パラチフス、コレラ</u> ○中耳炎、副鼻腔炎</p>	<p>ブドウ球菌属、レンサ球菌属、腸球菌、肺炎球菌、淋菌、大腸菌、シトロバクター属、サルモネラ属（チフス菌、パラチフス菌を除く）、シゲラ属、クレブシエラ属、エンテロバクター属、セラチア属、プロテウス属、モルガネラ・モルガニー、コレラ菌、腸炎ビブリオ、緑膿菌、インフルエンザ菌、カンピロバクター属のうち本剤感性菌による下記感染症</p> <p>○咽喉頭炎、扁桃炎、急性気管支炎 ○腎盂腎炎、膀胱炎、前立腺炎、淋菌性尿道炎 ○毛嚢(包)炎(膿疱性痤瘡を含む)、癬、よう、伝染性膿痂疹、蜂巣炎、皮下膿瘍、感染性粉瘤 ○胆のう炎、胆管炎 ○細菌性赤痢、腸炎、コレラ ○中耳炎、副鼻腔炎</p>

【用法・用量】

改訂後	改訂前
<p>ノルフロキサシンとして、通常成人1回100~200mgを1日3~4回経口投与する。 なお、症状により適宜増減する。 <u>ただし、腸チフス、パラチフスの場合は、ノルフロキサシンとして1回400mgを1日3回、14日間経口投与する。</u></p> <p>〈用法・用量に関連する使用上の注意〉</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 本剤の使用にあたっては、耐性菌の発現等を防ぐため、原則として感受性を確認し、疾病の治療上必要な最小限の期間の投与にとどめること。 2. <u>腸チフス、パラチフスにおける用量では、他の感染症に対する用量と比較して国内投与経験が少ないため、頻回に臨床検査を行う等患者の状態を十分に観察すること。</u> 	<p>ノルフロキサシンとして、通常成人1回100~200mgを1日3~4回経口投与する。 なお、症状により適宜増減する。</p> <p>〈用法・用量に関連する使用上の注意〉</p> <p>本剤の使用にあたっては、耐性菌の発現等を防ぐため、原則として感受性を確認し、疾病の治療上必要な最小限の期間の投与にとどめること。</p>

◆小児用バクシダール錠 50mg

【効能・効果】

改訂後	改訂前
<p>ブドウ球菌属、レンサ球菌属、腸球菌、肺炎球菌、大腸菌、シトロバクター属、サルモネラ属、シゲラ属、クレブシエラ属、エンテロバクター属、プロテウス属、モルガネラ・モルガニー、緑膿菌、インフルエンザ菌、カンピロバクター属のうち本剤感性菌による下記感染症</p> <p>○咽喉頭炎、扁桃炎、急性気管支炎 ○腎盂腎炎、膀胱炎 ○伝染性膿痂疹、皮下膿瘍 ○細菌性赤痢、<u>感染性腸炎、腸チフス、パラチフス</u></p>	<p>ブドウ球菌属、レンサ球菌属、腸球菌、肺炎球菌、大腸菌、シトラスバクター属、サルモネラ属（チフス菌、パラチフス菌を除く）、シゲラ属、クレブシエラ属、エンテロバクター属、プロテウス属、モルガネラ・モルガニー、緑膿菌、インフルエンザ菌、カンピロバクター属のうち本剤感性菌による下記感染症</p> <p>○咽喉頭炎、扁桃炎、急性気管支炎 ○腎盂腎炎、膀胱炎 ○伝染性膿痂疹、皮下膿瘍 ○細菌性赤痢、腸炎</p>

【用法・用量】

改訂後	改訂前										
<p>本剤は他の抗菌剤が無効と判断される症例に対してのみ投与する。 ノルフロキサシンとして、通常1日体重1kg当たり6～12mgを3回に分けて経口投与する。 なお、症状により適宜増減する。 また、投与期間はできるだけ短期間（原則として7日以内）にとどめること。 <u>ただし、腸チフス、パラチフスの場合は、ノルフロキサシンとして1日体重1kg当たり15～18mgを3回に分けて、14日間経口投与する。</u></p> <p>〈用法・用量に関連する使用上の注意〉</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 本剤の使用にあたっては、耐性菌の発現等を防ぐため、原則として感受性を確認し、疾病の治療上必要な最小限の期間の投与にとどめること。 2. <u>腸チフス、パラチフスの場合には、本剤が50mg錠であることから、下記の表を目安とすること。</u> <table border="1" data-bbox="277 1591 618 1797"> <thead> <tr> <th>体 重</th> <th>投与量</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>15～22 kg</td> <td>1回2錠</td> </tr> <tr> <td>23～31 kg</td> <td>1回3錠</td> </tr> <tr> <td>32～40 kg</td> <td>1回4錠</td> </tr> <tr> <td>41～49 kg</td> <td>1回5錠</td> </tr> </tbody> </table>	体 重	投与量	15～22 kg	1回2錠	23～31 kg	1回3錠	32～40 kg	1回4錠	41～49 kg	1回5錠	<p>本剤は他の抗菌剤が無効と判断される症例に対してのみ投与する。 ノルフロキサシンとして、通常1日体重1kg当たり6～12mgを3回に分けて経口投与する。 なお、症状により適宜増減する。 また、投与期間はできるだけ短期間（原則として7日以内）にとどめること。</p> <p>〈用法・用量に関連する使用上の注意〉</p> <p>本剤の使用にあたっては、耐性菌の発現等を防ぐため、原則として感受性を確認し、疾病の治療上必要な最小限の期間の投与にとどめること。</p>
体 重	投与量										
15～22 kg	1回2錠										
23～31 kg	1回3錠										
32～40 kg	1回4錠										
41～49 kg	1回5錠										

尚、詳細は改訂添付文書をご参照ください。